

接種回数

★接種履歴によって、今後の接種回数が異なります。裏面の図をご参照ください。

◇不活化ポリオワクチンは、初回接種として20日以上の間隔をおいて3回、追加接種として初回接種の終了後6か月以上の間隔（標準的な接種間隔の12か月から18か月が望ましい）をおいて、合計4回の接種が必要です。

◇国内未承認の不活化ポリオワクチンの接種を何回か受けている人で、医師の判断と保護者の同意のもとで接種が必要と考えられる場合には、更に1～4回の不活化ポリオワクチンの接種が可能ですので、

不活化ポリオワクチンのおもな副反応

主な副反応は、接種部位の発赤・腫れ・痛み、易刺激性、傾眠、発熱などが認められています。まれに生じる重い副反応としては、ショック、アナフィラキシー様症状(呼吸困難、血管浮腫など)、けいれんなどがあります。定期の予防接種の副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

接種時の注意事項

- (1) 予防接種は健康な人が元気なときに接種を受けて、その病原体の感染を予防するものです。
お子さんの体調をよく理解した保護者がお連れください。
- (2) 予防接種を受けることができない人
 - ①明らかに発熱（通常37.5℃以上）がある場合
 - ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
 - ③ワクチンの成分によってアナフィラキシー様症状(呼吸困難、血管浮腫など)を起こしたことがある場合
 - ④その他、医師が予防接種をおこなうことが不適合と判断した場合
- (3) 予防接種を受ける前に、主治医とよく相談しなくてはならない人
 - ①心臓病、腎臓病、肝臓病、血液などの病気や発育障害などの基礎疾患がある人
 - ②予防接種後2日以内に発熱や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状をおこしたことがある人
 - ③過去にけいれんをおこしたことがある人
 - ④過去に免疫不全の診断がなされている人および近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
 - ⑤ワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれのある人
- (4) 予防接種を受けた後の一般的注意事項
 - ①副反応の多くは1週間以内に出現しますので、この間は体調に注意しましょう。
 - ②入浴は差し支えありませんが、注射部位を強くこすることはやめましょう。
 - ③接種当日はいつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい活動は避けましょう。

問い合わせ先

京田辺市 健康福祉部 子育て支援課
0774-64-1377（直通）

